

JBF 設立 10 周年のご挨拶

バイオアナリシス・フォーラム（JBF）は今年 8 月に 10 周年を迎えました。本フォーラムは我が国のバイオアナリシス（生体試料中薬物濃度分析）に関するレギュラトリーサイエンス、及び関連研究・技術の向上・発展に寄与する目的で活動して参りました。10 周年を迎えられましたのも、ひとえに各方面の皆様方からのご支援の賜物であり、ここに深く感謝申し上げます。

JBF は 2011 年 8 月 10 日に設立され、同日に第 1 回 JBF シンポジウムが開催されました。それ以来、規制下バイオアナリシスの議論の場をゼロから立ち上げ、日本におけるバイオアナリシスに関する分析法バリデーションの実施の指針案（バイオアナリシスフォーラム素案）を提出する等による日本の規制下バイオアナリシスに対する多大な貢献を行ってきております。また、今日ではアメリカの AAPS やヨーロッパの EBF と同格の日本を代表するグループとして認識される地位を築いております。

これまでに 50 を超える小グループによる特定の議題を深く議論するディスカッショングループ（DG）等の継続的な活動を行っております。また、毎年開催されている JBF シンポジウムでは、海外からの演者も迎え年々参加者も増加しており、セッションのテーマもますます多岐にわたって、参加者間の議論が活発に行われております。昨年の第 11 回及び今年の第 12 回シンポジウムは COVID-19 のためオンライン開催となりましたが、次の第 13 回 JBF シンポジウムは感染の大まかな収束を期して、2022 年 2 月 28 日より兵庫県姫路市において対面での会合を目指しております。

今後も皆さまのますますのご支援ご鞭撻を賜りますと共に、本フォーラムが、我が国のバイオアナリストのさらなる資質向上の機会となることを祈念しております。

2021 年 8 月吉日

JBF 代表 斎藤嘉朗
(国立医薬品食品衛生研究所)